

第8回公開講演会

日本の城郭 “米子城”

平成28年10月1日（土）13:30～15:30

会場 米子コンベンションセンター 5階 第5会議室

講師 金澤雄記氏（国立米子工業高等専門学校助教）



改めまして米子高専の建築学科の金澤です。

小さい頃からお城が好きで、元もと広島生まれで、大学の修士論文に取り組む中で、たまたま米子城に関する資料がありましたので、まとめた次第です。

皆さんのお手元にアンケート用紙をお配りしています。これは学生に対してアンケートを行ったときに使用した用紙です。学生に対してはどんな意見を書いても点数を上げますとして書かせたものです。

皆さんはお城と聞くとどんなことを想像されますか。1つは天然の地形を生かして山の頂上付近や山全体を利用して造る城。2つには平山城で丘陵地や平地を利用して造られた城。3つ目は田んぼの近くに背の低いところに石垣があるとその存在は平城です。では日本にどのくらい存在するのかといえば、大体2万から4万ぐらいあると言われている。2キロ四方に一つあると考えられる。かつこよい山や平地にボコッと盛り上がっているところはほぼお城なのです。皆さんはお城と聞くと、山陰では松江城や姫路城ですが、水堀があって、高い石垣があって、沢山の櫓があって、土塀があって頂上に高い天守があってと皆さんは想像されると思います。ここに示しているのは姫路城です。このように多くの建物があります。

天守とは武器庫と藩の象徴

天守を持っているお城は、大体県庁所在地くらいです。これは大坂城ですが、大坂城は誰が造りましたか。皆さんは当然豊臣秀吉だとお答えになりますでしょうが、少し歴史に詳しい方では1割くらいは徳川家康と答えられます。少し偏屈な人は「大工さん」と答えますが、実は大工さんが正解です。今の大坂城は秀吉時代からすると真田丸でも出てくると思いますが、1619年落城します。天守に大量の火薬があって、それに火が入り爆発して崩壊して落城します。では今ある大坂城はと言いますと、当初の台座から20mほど盛り土をして現在ある大坂城です。さらに天守だけを見ると、コンクリート造りで中にエレベーターがあって、とても違和感があります。

更に難攻不落なお城はどこですかと問われると、一番強くて攻めても落ちない城は、北条氏の小田原城、信長の岐阜城とか、前の大河ドラマの八重の桜で出てきた会津若松城とか、あと熊本城ですね。そのあたりが結構おられます。私は大坂城天守が一番難攻不落な城といえます。なぜかと言いますと昭和20年の大阪空襲の時に、焼夷弾の直撃を受けたのですが、コンクリートで出来ているものですから、はじき返したというもので、アメリカ軍をもはじき返す難攻不落です。このようにしてお城の前段を話させていただきました。

今日は米子城についてですので、まずお城という構造はどうなっているかといいますと、復元図を観て考えて頂きたいと思います。米子市民の方は大体想像がつくと思いますが、よそから来られて方はなかなかわかりづらいと思います。丁度今の建物はこのあたりでして、9号線がここに走っていきまして、車で来られた方は小高い山の上に石垣が見えると思いますが、では米子城はどんな造になっていたのかといいますと、まず頂上に2基の天守が建っております。これが一つの特徴ではありますが、天守が2つ建っていることです。実は2つの天守が建っているのはそんなに珍しいことではなくて、例えば熊本城は2つの天守がありますし、姫路城ですと4つありますし、米子城は2つの天守は建築年代が10年ずれているのが面白いところです。松江城に登られた方もおられると思いますが、松江城天守は階段が急勾配ですね。観光客が良く間違えるのは、こんな階段を殿と姫がどうやっててっぺんまで上がったのだろうかといいながら歩くと思うのですが、実は天守は単なる巨大な武器庫で、人が生活する場所ではないのです。今日はそれだけはしっかりと覚えて欲しい。天守というのは普段鍵が掛けてあり、鉄砲だとか槍だとか弓だとか火薬だとかを保管しているためのもので、巨大な土蔵なのです。

皆さんのお宅にもしかして蔵があると思いますが、年に何回入りますか、2階から町を觀たりされないでしょう。実は天守も同じで普段は鍵が掛けてあり、滅多に入ることはありません。ましてや殿さまは参勤交代で1年ごとに帰って来るので、その折に物があるのか、最後に天守に上がる程度で、2年に1度くらい入ることである。殿が2年に一度帰って来るので天守内を掃除するのが大変なことです。

天守に一番普段多く入るのは実は殿でも姫でもありません。姫などは絶対に入りませんから、掃除のおばちゃんが一番多く入ることになります。というような建物が天守なのです。では、殿や姫はどこに住んでいたのかといいますと、山の下に必ず御殿という建物があります。松江城で言いますと、今は県庁のところに三の丸御殿があり、興運閣のところに二の丸がありました。米子城ですと、テニスコートになっています御殿があり、ここで生活するのです。現在野球場になっているところを、どうするかということですが、ここはもともと年貢米を保管する蔵が一杯建ち並んでいたのです。そうすると、天守とは人が住まないのだということになると、いったい天守とは何だろうということですが、もしも万が一戦争になることがある場合に司令塔や物見やぐらとなる可能性があります。江戸時代になって天守が建てられた場合に、戦争ということはありませんので過剰防衛の建物で、万が一起きたら天守を使うことがあるかも知れませんが、江戸時代になってもし戦

争が起きたら町が吹っ飛びますね。たとえが悪いですが、今でいうなら原子力空母とか核ミサイルのようなものがここに2つ建っていると想像すると、もしこれを使うような戦争が起きたら一大事で、米子の町がなくなります。そもそも敵が攻めてきたら囲まれた時点でもうお手上げとした方がいいですね。僕の眉毛を覗てもらえるとわかると思いますが、あまり戦闘意欲が無い人間なので、もし人が攻めてくるとなると、電話をかけてごめん僕は何が悪かったのか、お願い許してと多分電話すると思いますが、江戸時代なんて何万もの兵が集まって戦争することとなると第三次世界大戦になってしまいます。本当に天守は使ってはいけないのですね。要するに逆に言うならば、天守が2つ建っているだけで当藩にはこれぐらい軍事力があるのだけどそれでもあなたは攻めてくるのですかというような象徴的な建物です。アメリカ軍の原子力空母に対して戦争を仕掛けるかといえば、よほどのことがなければしませんね。それと一緒に戦争を回避するための象徴的な建物で、ある意味で平和的な建物な建物かも知れない。そんな思いで今日天守についての話を聞いて欲しい。

天守の歴史は僅か15年間

まず日本の城の天守の歴史について話します。まずは日本のお城の転換期は何時かといいますと、1600年の関ヶ原の戦いです。歴史に詳しい方は徳川家康と西軍の石田三成が戦って徳川が勝利して江戸幕府を開くきっかけとなった。家康は江戸幕府を開くことで、もう今まで戦国時代であったのをもう戦争なしの国にしよう、貴方は広島、貴方は松江、貴方は岡山といったように国を配置されたので、大名は5年10年と年月をかけて天守を造った。戦国時代に松江城を造っていたら、周りから攻めてこられて落城します。立派な天守や石垣や御殿を作れたのは、1600年後の話である。それよりも前であれば例えば、織田信長の安土城だとか秀吉の大坂城、毛利の広島城とか施策的にというか絶対に攻めてこないだろうと反天下人みたいな人達は天守を守ったような城を造ったが、一般の大名は1600年後に城を造り始めた。次の転換期は何かというと、1615年の大坂夏の陣、冬の陣で、これは徳川と反徳川である豊臣方の危険分子たちを徳川が大坂城を攻めて豊臣を滅ぼしたのが大坂夏の陣で、これで徳川に敵対する勢力はなくなった。そうすると徳川は、大名に対し城を造ってはならん。一国一城でそんなに国にたくさん城を造るのではなく、住むところが一つあれば良くて後は全部壊してでも城の新築はまかりならないとの軍縮令を出したのが1615年で、これで日本の城の歴史は終わる。1600年からみんな一生懸命城を造り始めて、15年に禁止令がだされ、日本の天守の歴史はたかだか15年に過ぎない。お城は江戸時代を通してずっと続いていると思いがちですが、松江城は1611年、姫路城1607年、米子城1601年ということです。ではその後の江戸時代の長い歴史の中では瓦が飛んだり、風雨にさらされて傷んだところを修理していて、基本的に新しい城は建設されていない。

今度は城の受難な時代について話しますと、明治4年に江戸時代が終わり新しく明治時代となって、政府は江戸時代の物をすごく嫌いまして、今の安倍首相が前の首相がやったことを覆そうとしているのと同じで、明治政府は江戸時代の物をすごく嫌った。武士の封

建時代の物をすごく嫌ったため、その最たるもののお城なんて壊してしまえと廃城令が出され、日本のお城というものはことごとく壊されます。私の数えでは、大体 160 位あったのがなんと 21 まで減らされてしまった。米子城でいうと、天守は廃城令に沿ったものであるが、ボロボロになって崩れたとか誰かが崩したとか言われているが正しくはない。松江城は天守のみ残っているが、周りの長堀とか櫓など他は全て取壊されている。中国地方では米子城、津山城、四国では萩城だとか、傷んでいたのではなく壊された。さらにお城の受難は続きまして、21 の城を何とか理由を付けて残していたが、第二次世界大戦の空襲で 9 つの城が焼失した。名古屋城の一番でっかいやつだとか、広島城とか岡山城の 5 階建てのいいやつが全部焼けてしまった。

現存する国宝天守は 5 基のみ

ということで、今残っているお城は天守に限ると 12 基しか残っていない。櫓とか門等について 50 くらい残っている。そのうち国宝は松本城、犬山城、彦根城、姫路城、松江城の 5 つです。松江城の位置づけは 160 有った天守の内の 12 個の内 5 個となっている。四国に 4 つ、岡山の備中松山城です。皆さんも一つは行って観て下さい。

例えば岡山城とか広島城とか福山城に行くと、天守が建っていますが、昭和になって戦後復興が終わって、町のシンボルが空襲で焼けてしまって無くなったのは悲しい。と例えば熊本城が崩れているが、町のシンボルだから復旧したいという思いが強いのと思いますが、空襲があつて 15 年後くらいにやっぱり天守を復元して欲しいとして、復元したのが日本中の今ある



お城です。例えば岡山城も大体似たような形で造ってはいるのですが、木造で造ればよかったのですが、木造で復元するとまた焼けてしまうかも知れない心配があつて、熊本城もまた造ったら崩れるかもしれないので、コンクリートで造って外観は良く似せて造るのだが、内部はありきたりな造りとなっているがまがい物となる。

もともと天守がなかったのに観光用に造っている。例えば黒田官兵衛の中津城等です。ここに小さい櫓が建っているだけだが、わざわざ石垣からはみ出して 5 階建ての天守を建てていますし、佐賀県に唐津城がというのがありますが、海の上に島があるのですが、石垣だけ造って天守は建てられなかったのですが、なかなかかっこいい天守を造り、日本のモンサンミッシェルと呼んでいるのですが、海に上の山にあつて昭和的に天守が建っているとかっこいいですね。ついには歴史に史実に基づいていない天守を昭和デザインで勝手に建てているのですが、なかなかかっこいい天守ですが罪なことです。観光客は黒田官

兵衛さんが建てたお城だと間違えて入ってしまう。昔こんなもんがあったと思ってしまうことが罪深いことです。最近ニュースで万里の長城での石積をコンクリートで補修した写真が公開されたが、悪事ですよ。

昭和50年～60年代になると、ふるさと創生で地方自治体に1億円を配布したが、いろいろな事業に充てたが、中には我が町にお城をとということで、勝手に何にもないただ広い山とか公園に勝手に石垣を造って、勝手に城を建てた町があった。いきなり設計士にお城の設計をして下さいと言われても、取り敢えず岐阜に国宝の犬山城があり、4階建ての丁度いい大きさなので、これに大体真似て犬山城らしい建物を日本各地にあっちこっちに馬鹿みたいに立てている。大体50棟ぐらいあります。私は犬山城ファミリーと呼んでいます。犬山城そっくりのお城が日本中あっちこっちに1億円で建てている。

鳥取市の南に位置している河原城が建っており、下から観るとかっこいいですが、犬山城ファミリーです。石垣から勝手にコンクリートで固めて建っている。ということで、もともと残っている天守は12しかありませんが、まがいのお城が現在私の認識では、日本に約100棟位あるのですが、どうでもいいお城も結構建てているので大体200位あるのですが、本物は少ないということです。では何が邪魔をしているかといいますと、こういうお城は300円位払うとてっぺんまでに甲冑とか刀とか飾っていて、さらに登るとてっぺんが上がって最上階に上がって、100円入れると双眼鏡があつて景色がいいなとなり、わざわざベランダを造り、ここから殿と姫がこうやって町を眺めているのだと、人が錯覚しがちです。そもそも天守とは入るものではなく単なるお堂でしかないにもかかわらず、ベランダを回して観光目的のために造っていますから、日本のお城は殿と姫が天守に住んでいて、毎晩夜になると天守から観ていると錯覚を起こしているところが罪なところですよ。

後は志村けんのか殿さまのせいで、そんなものかと見ているので日本人のお城のイメージになっているが、実は天守には入るものではない。万里の長城を観てもあんな復元に仕方はどうなんかなというのが日本人としての思いがある。最近になって平成10年位になって、こんな変なまがい物を造るのは辞めようじゃあないかという文化庁の動きとなって、どうせ建てるなら木造で完璧に昔の図面の基づき完全に復元しようではないかという動きになってきており、こういう変なものではなく真面目に建てようとなってきている。

城の復元には経済効果となるのか

第1号が静岡県の掛川城が復元されましたが、これが100%かといいますと、実は定かではないですが、昔のままに近い城です。さらに愛媛の大洲城は4階建てを復元していますが、木造でここまで復元するかとこれを観たら、わが町にも城が欲しいと思わせる良くてきた城です。是非愛媛に行かれたら観て下さい。さらに宮城県の白石城とか沖縄に行かれると皆さん絶対に観られる首里城です。沖縄戦で米軍の攻撃で木っ端微塵石垣ごと吹っ飛ばされたのですが、近年木造で再建されています。

最近では天守だけでなく、御殿だとか櫓だとか門も木造で復元する時代となっていて、

熊本城の御殿ですとか、今復元している名古屋城の御殿です。マイナーですが多賀城だとか丹波篠山の高山城とかが復元されています。後、櫓も木造で復元されていて、金沢城の櫓ですが、明治に壊されたものを平成になって木造で復元しました。すると NHK の大河ドラマがきて、前田利家と松を放映すると観光客が来て、観光収入が増加しさらに新幹線が開通してと、城を復元することによって観光客が増えるなど、うまいことをやっているなどと思います。後、熊本城ですね、櫓や長門や石垣が地震で崩落しましたが、中には今にも崩落するかとおもわれますが、実はこの石垣で櫓を支えています、この櫓は昔からの物ではなく、平成 20 年位に復元したもので、今崩れかかっているのが木造で完璧に復元したものです。熊本城は頑張っており、年に 1 棟建物を木造で復元していて、櫓は 50 棟位建っていますが年に 1 棟復元すると観光客が来てお金が入る、するとそれでまた復元する、客が来るお金が入る、また造る。客が少なくなるとくまもんを作るみたいなことで、20 年位で城全体を復元する計画でしたのに、今復元に最も力を入れていて、5 年前に櫓や門などを復元したのにも関わらず、地震で計算が狂った状況です。悲しい出来事です。

木造での復元を身近に見たければ松江城

後道後温泉に伊予松山城がありますが、ここはみんな建物の復元が終わりました。残っていたのは、天守と一部の櫓と門でそれ以外は全部復元が完了しました。

では米子城を復元するとなると、天守があつて櫓がいくつかあつて、間違いなく誤解なく観られるような建物ですね。ちゃんと復元して個々の櫓から鉄砲を撃ってこられとか石垣から鉄砲を撃ってくるのだとか、観光客が良く理解できるようなお城に復元する必要がある。

木造での復元を身近に見たければ、松江城に行くと天守は昔から残っていますが平成 11 年に太鼓櫓があります。さらにこの近くでは広島城とか福山城とか備中松山城なんかも櫓を復元していたり、今鳥取城の大手門の復元に取り組んでいます。今、木造復元の時代ですよと知っててください。さらにですけど、天守の今後 20 年後はどうなるのかといえば、例えば福山城、熊本城、広島城、名古屋城と昭和 30 年代に鉄筋コンクリートで外観復元をした建物です。熊本城天守の屋根瓦が崩落していましたが、実は屋根はコンクリートで昭和 40 年に復元した建物です。コンクリートで復元した建物は、寿命が長くて 80 年です。中の鉄筋が錆びてしまいますので仕方がない。大体昭和 30 年代に復元した建物は、建て替える必要があります。そうすると、もうコンクリートでの復元はしないことになる。

そうすると、実は若手でお城の研究者はいないから私のところに仕事が入ってくるので、冗談ですが老後生活は左団扇で過ごせると甘い期待をしています。すでに話した通り、天守の歴史は 15 年位しかありませんし、今 12 基しかありませんので木造で完璧に復元する時代であることを認識して欲しいわけです。

米子城の歴史は

では米子城ですが、~~今~~今話を聞くと、ではどれ位正確な建物が可能なのか、復元できる正確な資料はあるのかとの疑問が出てくるかと思しますので、コンクリートで適当なものを建ててもいいのですが、木造で完全な復元をする時代ですので、果たして復元できる資料があるのかとなります。ここに学生が資料に基づいた復元した模型がありますので、お手元に回しますのでご覧ください。観るときに、下が非常に大きく五角形で上に行くほど正方形になっている。まず、簡単に米子城の歴史について話しますが、歴史自体はどうでもいいのですが、天守に関するお話だけとすると簡単に4行で終わります。2基の天守があるのですが、最初に築城の取り組んだのが、吉川広家という人です。誰だとなりますが、広島毛利の家臣で、歴史で何をしたかといいますと、先ほどの関ヶ原の戦いで小早川という人がいて、最初は石田三成についていたのですが、西軍を攻めることで家康が勝ったという、日本三大裏切者の一人が小早川秀秋なのですが、この裏切りを唆したのが実は吉川広家なのです。なので、吉川広家は日本三大裏切りに裏切ろうといった人が米子城の築城を手掛けたので、私は米子人を信用していないということです。吉川広家という人は、自分の天守、後に小天守となりますが、その後毛利が関ヶ原の戦いで負けてしまいます



ので、毛利は広島から山口へ、吉川は米子から岩国へ飛ばされてしまいますから、代わって徳川方の中村一孝という人が来ます。この人は歴史上何にもしていない人ですから、ご存じないと思います。中村一孝が入ってきますが、吉川広家が建てた天守の横に一回り大きな天守を建てた。従って米子には2つの天守が建っているということです。広家の天守でもよかったのですが、やはり自分の新しい天守が欲しいということで、もう一つ建てたのが米子城です。ここで私の今日の話聞いた方はわかると思いますが、先ほど関ヶ原の戦い以降から天守が建てられたといいましたが、それ以前は安土城や大坂城のように、割と大大名のお城だけが比較的建てられたので、吉川広家が建てた小天守は実は関ヶ原よりも前でして、明治に取壊されていなければ、現存最古の天守となります。かなり古い天守ですね。今残っている国宝天守は米子城より新しいこととなります。残っていたら安土城、大坂城、岡山城、広島城の次に古い天守となっていたのに、明治4年にやすやすと壊してしまったということです。

後もう一つ米子城の特徴は何かというと、天守が2つ建っているのですが、建築年代が10年ずれていることです。時代の異なる2基の天守が建っているのが米子城の一番の特徴です。イメージ的には、古いものと新しいものが両方建っているということで、2基の天守は新旧の違いが出ていることです。江戸時代に城の修理をするのですが、幕末まで進みますが、小天守の石垣が崩れたので、鹿島さんという方がお金を出して折角直したのですが、30年後の明治に廃城令で壊せと言われて、2つの天守と周りの御殿だとか、櫓、門に

至るまで壊したのが米子城の簡単な歴史です。

風呂屋の薪伝説

ところが米子の都市伝説で壊した物は風呂屋の薪になったというのが都市伝説であったと思うのですが、私は半分正解で、半分は嘘だと思っています。日本のお城というのは明治の初めに大量の壊したのですが、昔は良い材料を使っていますので、門は大体付近のお寺とか神社とかに払い下げて、お寺の門になったり神社の門になったりしていますし、櫓なんかは農家がい取って自分の米蔵にしたりとか、いろんな所へ転用していたと思います。昔のように壊してすぐに売れるのではなく、立派な材料が使っていますからみすみすそのまま捨てたとは考えられない。ましてや太い梁等を風呂屋の焚き口に突っ込んだかとおもえないので、それは嘘だろうとっていて、今米子の町やなんかを調査をしていますが、明治の建てた町やの中に城の廃材と思われるものが使っているのです。なので、天守や御殿のような太い材料は民家に払い下げられて、城下町の建物の建築に使ったと思います。但し細い屋根の垂木だとか窓の枠などは風呂屋の薪となったであろうと思います。梁は残っていることが最近の研究で分かってきていますので、都市伝説の半分は嘘だと思います。では天守を復元するにあたってどんな資料があればいいかといいますと、150年前に壊された建物を素人思うとどんな資料を探したらいいのでしょうか。1つは古写真です。明治ぎりぎりになると日本に写真機が入ってきますので、撮影されています。米子城に関しては1枚だけ写真があります。大小の天守が建っていたのですがこの写真では、小天守の方は石垣だけが見えているのでのみで壊されていて、大天守の横顔だけがちらちらと観えている。他に何があればいいのかとなると天守と城の設計図があるといいのですが、日本のお城の設計図は世の中に存在しません。しかし、徳川の江戸城と大坂城と名古屋城と二条城に関してはあるのですが、お城は軍事機密ですから、建てる時にはあるのですが、完成後は焼却して軍事機密を守っています。ましてや地方の城の設計図は世の中に存在しません。例えば昨年海中から出てきた戦艦武蔵だとか大和だとかの設計図が無いから、海から出てくると大騒ぎをするのです。軍事機密といわれるもの設計図は存在しないのです。天守の設計図も徳川の限られた城にしか存在せず、ましてや米子城などあるわけがない。写真があつて、まじめに描いた写生的な絵です。絵があればいいかなということで、江戸時代に石垣が崩れたとか、ここをなおしたいとか書いた絵が20名くらい残っているのですが、幼稚園児が写大会位の稚拙な絵です。建物の形が描いてないのです。適当にちょいちょいと書いた程度の絵です。宛にできないものですが、一様天守の高さとか大きさについては書いてあるので、まあ信用してもいいかなと思っています。

大天守は外観からなんとなく分かるが内部は全く不明

こんな資料を基に幾人の型が復元図を描かれていますが、松岡さんという方が1990年位に描かれていますが、実はお菓子の壽城があるのですがこの絵を基に模して造られています。

して、米子城の大天守模して造られていて、白いか黒いかの違いはありますが、良くできています。その後3年後に私の師匠でもあります広大の三浦先生が、松岡さんがここに描いている寸法を読み間違えて上の方が少し小さいので、変な形になっていましたので修正して後出しですが、こちらがより正確な図面が来ています。

ですが大天守の方が外観なんとなく分かるのですが、内部は全く不明です。礎石があるので柱はどこにあるのかは分かるのですが、2階以上の柱はどうなっているのか、梁はどのように架かっているのか、セオリーで想像することはできるのですが、実際に決めてとなる資料はないのです。中の写真もないですし、間取りも不明ですので不確かな資料ですので、もし今復元するとすると、資料不足です。木造で完全復元する時代ですから、資料がないから文化庁から駄目だしとなる。ですから木造復元とはそれほど難しいことなのです。今松江城の大手門を復元しようと動いていますが、何にも資料がないからできない。研究者としてはセオリーとしてこんなもんであったとわかりますが、写真とか、絵とか図面とかの資料がないから資料不足で駄目となる。米子城の大天守を復元するためにいくら金があっても建てられない。で、逆に小天守の方はどうかというと、実は設計図が存在しているのですが、何の設計図があるのかというと、建てた当時の設計図ではなく、建てて250年後の幕末に加島さんが修理した時にこんな修理をしますと書いた設計図が残っているのです。これでも1つの設計図ですから、たまたま崩れてたまたま修理した時の図面が残っていて、たまたまが3回続くと奇跡といいます。他の城でも修理をした時の図面は多少残っていますが、天守の図面が残っているのは数える程度しかない。ですが残っているのならちゃんと復元しようではないかというのが、私の修士論文です。どうやって復元するのかはさておいて、図面上の黒いのは1階で赤いのは2階で、梁の掛け方まで書いてあって、建具の金具も書いてあってあるので、建築的に読みとくことができるのです。CGで復元するとこの写真のようにできます。

お城マニアの間では、次に復元されるのは米子城の天守ではないかとささやかれている。なぜかというと、資料があるからで、他のお城は例えば天空の城竹田城がありますが、天守台はありますが、天守の資料がないから建てられない。例えば鳥取城を建てるにしても、資料がないから建てられない。松江城に3つの櫓が建っているが、それ以外の建物に関しては資料がないから建てたくても建てられない。それに比べて米子城は1級の資料があるにもかかわらず建てられない。なぜかというと建てて250年後の姿であって、皆さんのように50年位たつと風呂だとか台所だとか改築していますように、天守にしても傷んで改築しているのです。何で改築しているのかといいますと、最上階にはベランダがついていたのですが、山陰の雨風で木ですので、ボロボロになっていて、ベランダの外側に板を貼って隠しているので、ろくろ首みたいな火の見櫓となっていて、板を剥ぐとどうなるかといいますと、ベランダが出てきますので天守らしくなる。

写真に写っている大天守のベランダも剥げば出てくると思います。そうすると、お金が出来て木造で復元することになりますと、幕末バージョンか吉川広家バージョンか、どち

らを復元するのかとなりますと、私の場合は金沢の兼六園の雪囲いとすれば、吉川バージョンありかなと思います。

石垣が年代の手掛かり

最後になりますが、お城の話をしました。どこかお城を観に行きたいと思われる方は、建物ではなく石垣の見方についてお話をします。簡単に言うと石垣はパッと見ると、いつの時代であるかが分かるようになります。本当は企業秘密にしておきたいのですが、古いか新しいかを見分ける方法は、城の石垣は角の石垣をどのように築くかです。それは左右上下から圧力がかかるため、非常に難しいわけです。古いお城はどうするかというと、直角に石垣を造ることはできない。圧力が90度にかかって来るので、できるだけ開いた直線に近い状態の120度に傾いていて、信長が建てた安土城は木造建築としては長方形の方がいいのですが、石垣は造れないものですから、八角形となっている。岡山城なんかも一方は高い石垣になって本丸が乗っていて、90度に造れないので意味の解からない5角形になっている。



米子城も5角形になっている。天下の姫路城も姫路駅の方から観ると微妙に天守が膨らんでいく。目の錯覚かなと思いますが、90度ではなく100度位に傾いている。ということで、お城というのはこのように歪んだものも木造建築の造形した立建物で、左右平等にできていない。大体1605年位になるときっちり長方形となる。松江城や名古屋城の石垣は20mあるうち長方形で加藤清正が造っている。米子城の古い方の天守は5角形と歪んでいるが、新しい天守はきっちり長方形

形でできている。宇和島城もきっちり長方形で出来ている。石垣を見て角に行くと歪んでいたら古い、直角でしたら1605年よりも後だと、簡単に見分けることができる。米子城を比較すると新しい方がきっちり長方形で、古い方が5角形になっている。後一つ、横から見て石垣の積み方を見るとよくわかる。角の部分を見分けると最初の頃は大きな石をポンポンと作っていたのですが、1605年位から算木積みという積み方ができたので長方形になるのですが、よく見ると長い石を左、右、左、右とX軸、Y軸両方に咬むように、積むようになっていて、これを算木積みといいます。このように積むことによって角を90度に造ることができるようになったわけです。上から観て歪んでいるか、横から見て大きな石が互い違いになっているかで、1605年より古いかを簡単に見分けることができる。このことを知った上で松江城の石垣を見ると、両方の積み方がされている。どこに行っても、鳥取城に行っても大体両方の積み方がされている。

天守の復元で経済効果は

最後ですが、もし米子城を復元する可能性が有るのかですが、まず、天守1個を復元するのに幾らかかるのかですが、今まで大体3階建てか4階建ての天守を復元すると、掛川城、白石城とか大洲城とかでは、大体15億円ですね。本日30名ですので1人5000万円ずつ出して頂きますと完成します。マイホームを断念して頂きますと可能です。ちなみに掛川城は市民のある老婆が城を建ててくれと5億円寄付しまして、市がやらざるを得なくなって建てたというお城でして、米子にも5億円寄付してくれる老婆がおられましたら、市も建てなくてはならない。国立競技場は3000億、豊洲でも修理するのに20億円かかるので、15億円なんてしれた額ですね。後は感情論として建築的な意見として、本日皆さんにアンケートお願いしましたが、学生にもテストをしました結果、まず賛成か反対かとして、その理由を書かせたところ、かっこいいから賛成が40人中35人位かなと考えていたのですが、半々でした。皆さんも反対が半分位出てくると思います。学生の意見を紹介しますと、賛成の意見としては、経済効果となり地域の活性化となる、出来たら行きたい等想定内の意見でした。面白いのは復元すると永続的に残るという話で、熊本城のような復元したものが崩れたが多分復元されます。1回復元してしまえば維持管理費はかかるが永続的に残すはず。ということは、多分今から100年以内には建てることになる。市長が変わって歴史に興味を持っている方が出られると在り得る話です。100年以内ならいつ建てるのでしょうか“今でしょう“となり今建ててもいいでしょうとなる。反対の意見としては、10億円はムダ使いだし、高いし、建てたら維持管理費がかかるし、興味がないし、米子に復元しても経済効果は見込めないし、見世物であることには変わらないし、見世物に10億円出すのはどうか。

安土城ならいいが、米子城は歴史上何にも出てきてないし、有名でないのに復元しても何になるのか、ということで厳しい意見も出てくる。後、もう少し面白い意見は、本気で壊したことも歴史なのでそれを復元するのは如何なものか、地震で壊れたのを復元するのは在りだ。例えば原爆ドームを復元するようなものだから、壊れて状態でそのまま残すなら理解できる。そして150年前なので誰も本物を見たことがないので愛着が無い。たとえ復元しても懐かしいとか、復元してくれてありがとうとならない。10億円を投資するなら駅ビルを建てるとかの話になる。熊本城はさすがに復元しようとなりますが。建築倫理もあるものですから、さすがに金があっても、資料があっても建てることにもなかなか難しいことかなというところがある。

ちなみに経済効果年ですが、掛川城の場合、単なるなんでもない山にお城を復元することになって、年間20万人の人が来るようになって、1人大体3000円落とせば単純計算で6億円となりますので、それくらいの効果は見込めるようになるでしょう。松江城に30万人、出雲大社に50万人来るわけですから、米子に途中下車して皆生温泉に泊まれば1人20000円落とすこととなりますから、15億なんて簡単なものです。15億かかるんですが国の史跡ですから半分は国で、残りの半分は県の負担ですので市は3億円位の負担ですので皆さん

でも出せる額です。

最後に私の考えは、実は建物を建てることに今は反対です。理由はそもそも愛着がないということと、市民の皆さんが興味を持って貰ったり、知識を得てもらいたいということが必要と考えています。2年前位から50回位話をさせてもらっていて、2000人位の人に話していますので、では建てようと思っただけだと有り難いなと思います。今日は天守の話だけでしたが、天守だけ独り歩きをしても仕方がなく、御殿や櫓や蔵などの城の全体と、市内には当時の街並みが残っていて、私は城下町で町やの研究を合わせて一緒に調査、研究をしていますので、米子というのは城と城下町で持っているのだと思ってもらえて、では城が欲しいということが20年後位にそのような動きがあっても嬉しいかと思っっていて、明日建てるぞということについて私は一切思っと思っています。

ご清聴ありがとうございました。(文責・竹下靖彦)